

令和 7 年度東京グリーン・ブルーボンド対象事業の決定について

令和 7 年度に発行する東京グリーン・ブルーボンドについて、調達資金の充当対象事業を下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

記

1 新規の支出への充当分

No	環境事業区分 (別添参照)	事業名	想定される 環境効果	充当予定額 (百万円)
グリーンプロジェクト				
1	1. エネルギーの脱炭素化と 持続可能な資源利用による ゼロエミッションの実現	ヒートアイランド現象に 伴う暑熱対応 (遮熱性・保水性の向 上)	■遮熱性・保水性舗装の整備延長 15.390 km	1,394
2	1. エネルギーの脱炭素化と 持続可能な資源利用による ゼロエミッションの実現	都有施設の改築・改修等	■太陽光発電設備の想定年間発電量 6,520,177 kWh	3,404
	2. 生物多様性の恵みを受け 続けられる、自然と共生す る豊かな社会の実現		■緑化面積の拡大 1,361.76 m ²	
3	1. エネルギーの脱炭素化と 持続可能な資源利用による	都有施設・道路の照明の LED 化	■エネルギー削減量 6,398,613 kWh	1,615
4	ゼロエミッションの実現	公社住宅における太陽光 発電設備設置事業	■太陽光発電設備の想定年間発電量 313,904 kWh	316
5		自転車通行空間の整備	■整備延長 自転車通行空間 50.7 km 整備 (令和 12(2030 年)年度末まで)	1
6		ゼロエミッション・ビー クル (ZEV) の導入	■CO ₂ 等削減率 PHV CO ₂ (二酸化炭素) 25.6 % EV バイク NO _x (窒素酸化物) 100 % CO (一酸化炭素) 100 % HC (炭化水素) 100 %	18

No	環境事業区分 (別添参照)	事業名	想定される 環境効果	充当予定額 (百万円)
7		都府施設の ZEB 化推進	■エネルギー削減量 799,972 kWh	261
8		水道施設の省エネ化	■エネルギー削減量 496,900 kWh	627
9		水再生センター・ポンプ 所設備の再構築	■再構築した主要設備の台数 2,771 台 (令和 7 年(2025 年)度末まで)	2,171
10		下水道事業におけるエネ ルギー・地球温暖化対策	■温室効果ガス削減量 (能力値) 3.3 万 t-CO ₂ /5 年 (令和 7 年(2025 年)度末まで)	2,002
11		浸水対策	■下水道 50 ミリ浸水解消率 73 % (令和 7 年(2025 年)度末まで)	1,598
12	2. 生物多様性の恵みを受け 続けられる、自然と共生す る豊かな社会の実現	都立公園の整備	■整備面積 116,900 m ²	3,490
13		水辺空間における緑化の 推進	■整備面積 5,380 m ²	235
14		海上公園の整備 (海の森公園整備事業)	■整備面積 海の森公園（森づくりエリ ア）約 60 ha 整備	231
15	3. 都民の安全・健康が確保 された、より良質な都市環 境の実現	外濠の水辺再生事業	■水面の面積 8.3 ha（2030 年代半ばまで）	67
16		環境にやさしい都営バス の導入	■排出ガス規制対象物質削減率 NOx（窒素酸化物）81 % PM（粒子状物質）65 %	2,500
ブループロジェクト				
17	2. 生物多様性の恵みを受け 続けられる、自然と共生す る豊かな社会の実現	東京港ブルーカーボン整 備事業	■浅場造成面積 1,200 m ²	64
18		ブルーインフラの整備	■整備箇所数 1 か所着手	6
合計				20,000

別添：東京グリーン・ブルーボンドにおける環境事業区分

【問い合わせ先】
財務局主計部公債課
直通 03-5388-2681

東京グリーン・ブルーボンドにおける環境事業区分

東京都環境基本計画（2022年9月）に基づき設定した環境事業区分及び当該環境事業区分ごとの東京グリーン・ブルーボンドの対象事業例と想定される環境効果は下表のとおり。

No	環境事業区分	対象事業の例示	想定される環境効果
1	エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 事業所における温室効果ガス削減 ■ 省エネルギー対策・エネルギーマネジメントの推進 ■ ゼロエミッションビークルの普及促進 ■ 次世代交通導入、自転車利用促進 ■ 再生可能エネルギー等（太陽光、地中熱、下水熱及び水素等）利用率向上 ■ 資源ロスの削減、環境に優しい素材の利用 ■ 3R、廃棄物の循環利用促進 ■ 環境負荷の低減に役立つ資材の使用促進 ■ 都市の気温上昇に対する適応 ■ 洪水や自然災害への対応 ■ 道路整備（遮熱性・保水性対策） ■ 水質汚染の軽減、地下水の保全	■ CO₂排出量の低減 ■ エネルギー使用量の削減 ■ 再生可能エネルギー利用量の増加 ■ 廃棄物排出量の低減 ■ 廃棄物循環量の増加 ■ 気温上昇に対する適応能力の向上 ■ 洪水や津波、その他の自然災害への対応能力の向上 ■ 遮熱性・保水性の向上 ■ 水質汚染の改善
2	生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	■ 緑の創出・保全（公園整備、都市の緑化推進及び森林整備等） ■ 生物多様性の保全（海上公園の干潟整備等）	■ 緑地面積の拡大 ■ 整備面積の拡大
3	都民の安全・健康が確保された、より良質な都市環境の実現	■ 大気汚染の軽減 ■ 土壌汚染対策の推進 ■ 有害廃棄物等の処理促進	■ 大気・土壌汚染の改善 ■ CO₂排出量の低減 ■ 廃棄物循環量の増加